

HIPRAC セミナー (2022/11/12) 開催報告



「HIPRAC セミナー」が、第35回 JASTRO 学術大会 (2022年11月10日 (木) ~12日 (土)) のサテライト企画として、2022 (令和4) 年11月12日 (土) 14:30 から広島県医師会館1階ホールで開催され、JASTRO 学術大会に参加者された方々の中から事前申込と当日参加の計27名の参加がありました。

放射線腫瘍医	11名
その他の医師	1名
専攻医	1名
診療放射線技師	10名
医学物理士	3名
大学院生	1名
	計 27名

第35回JASTRO学術大会サテライト企画
HIPRACセミナー
参加無料

日時 2022年11月12日 (土)
14:30-15:30

場所 広島県医師会館 1階ホール 及び 広島がん高精度放射線治療センター

内容 司会 | 広島がん高精度放射線治療センター 小澤修一 医学物理士長

【講演】 14:35~15:05 《HIPRACについて》
広島がん高精度放射線治療センター 副センター長 権丈 雅浩 氏

【施設見学】 15:05~15:30 《広島がん高精度放射線治療センター》

Ver04DRT TrueBeam TrueBeam STX

【申込方法】 第35回JASTRO学術大会のホームページから申込み下さい
URL: <https://jastro.convention.org/jastro2022/>

※「事前参加登録の自動配信メール」は「日本放射線腫瘍学会第35回学術大会の学術参加証」を交付時に一括でお送りいたします。

【定員】 最大70名程度(聴講席の都合次第となります。)
申込状況に応じ変更の可能性があります。

【問合せ】 広島がん高精度放射線治療センター
TEL (082-263-1330)
E-MAIL: office@hiprac.jp

小澤医学物理士長の司会で開会、「ネットワーク型放射線治療センターの意義と今後の展開」と題して権丈副センター長から講演が行なわれました。

講演ではHIPRACの設立経緯、スタッフ・機器概要など「ネットワーク型がんセンターとしての機能について」に続き、4基幹病院 (広島大学病院、広島市民病院、県立広島病院、広島赤十字・原爆病院)

広島がん高精度放射線治療センターの役割

1. ネットワーク型がんセンター
(広島大学病院・県内がん診療連携拠点病院・がん診療病院・地域医師会と連携)
2. 人材育成(教育・研修機能)
3. 技術支援(県内外の放射線治療施設支援)
4. 国際交流支援

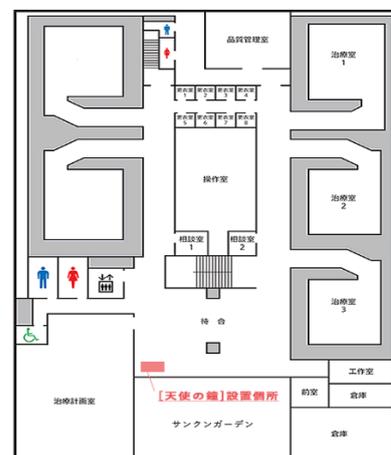
からの技師の在籍派遣、若手医師・医学生の研修と実習を行う「人材育成(教育・研修機能)」、県内外の放射線治療施設の品質管理を行う「技術支援」のほか、IAEA(国際原子力機関)とHICARE(放射線被曝者医療国際協力推進協議会) 合同の国際医療研修やアジア諸国(モンゴル・ベトナムなど)の放射線治療スタッフへの研修を行う「国際交流支援」など、センターの役割について詳しい説明があり、参加者は熱心に聴かれました。

講演に続き、HIPRACの施設見学に移り、3つの班に分かれ

階にある治療計画室、操作室、そして3台の放射線治療器 (Ver0-4DRT、TrueBeam、TrueBeam STx with ExacTrac) を視察いただきました。各班にはそれぞれ2名の医療職 (A班: 権丈先生・植田先生、B班: 土井先生・小澤医学物理士長、C班: 岩波看護師長・早田診療放射線技師) が説明者として対応し、詳しく尋ねる参加者もおられ、施設見学は盛況でした。

施設見学は予定時間を少し超過して、広島県医師会館ホール前で終了・解散となりました。

(文責・中元)





講演風景 1



講演風景 2



施設見学 1F から地階へ移動



天使の鐘



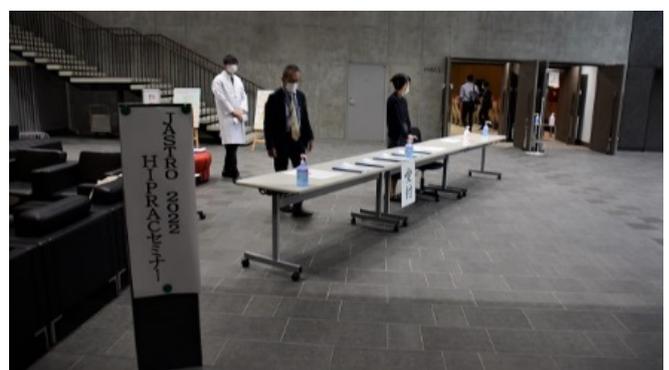
操作室内



Vero-4DRT



治療計画室内



受付風景 (机配置)